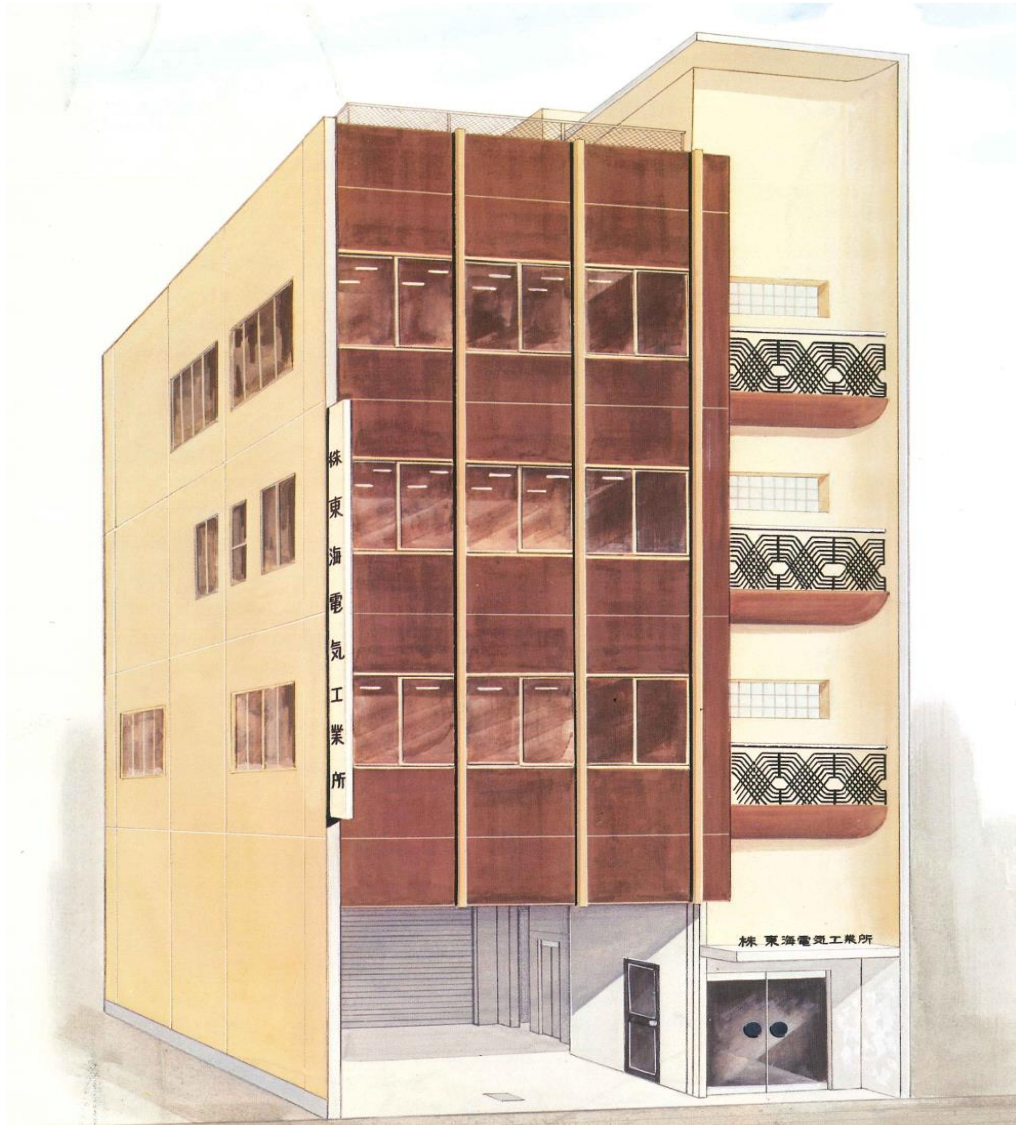


エコアクション21

環境経営レポート

運用期間 令和3年5月1日 ~ 令和4年4月30日



株式会社東海電気工業所

第11版 作成日 令和 4年 6月 23日

目 次

1. 環境経営方針	3
2. 事業の概要	4
3. 実施体制	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営目標の実績	7
6. 環境経営計画 取組内容	8・9
7. 環境経営の取組結果の評価 次年度の取組の内容	10
8. エコアクション21 環境経営目標の取組結果と目標(グラフ)	11
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	12
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	13

1. 環 境 経 営 方 針

【基本理念】

株式会社東海電気工業所は、事業活動において地球環境を守るため、環境保全と環境経営の継続的改善に取り組み、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

【基本方針】

- 1 環境に配慮した製品の使用と、環境負荷低減施工への取り組み
- 2 フロンガスの適正管理と適正処理
- 3 省エネによるCO2削減の取り組み
- 4 事務所及び現場で発生した産業廃棄物の分別・再資源化に努め、
3R推進による排出量削減
- 5 水使用量の削減
- 6 環境関連法規の遵守

環境保全のための方針、目標を社員全員に周知し、会社全体で向上を図ります。
また社員教育を行い、人材の育成、意識の向上を図るとともに環境経営レポートを、社外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にします。

制定日 平成 21年 7月 21日
改定日 令和 3年 9月 22日 Ver.2

株式会社東海電気工業所
代表取締役 鈴木 俊正

2. 事業の概要

- ・社名 株式会社東海電気工業所
- ・代表者 代表取締役 鈴木 俊正
- ・所在地 静岡市葵区本通六丁目3番地の4
TEL (054)253-3171 FAX (054)253-5971
- ・環境管理責任者 岩ヶ谷 和生 tokaidenki@mail.wbs.ne.jp
- ・担当者連絡先 鈴木 朝美 静岡市葵区本通六丁目3番地の4
TEL (054)253-3171 FAX (054)253-5971
- ・事業の内容

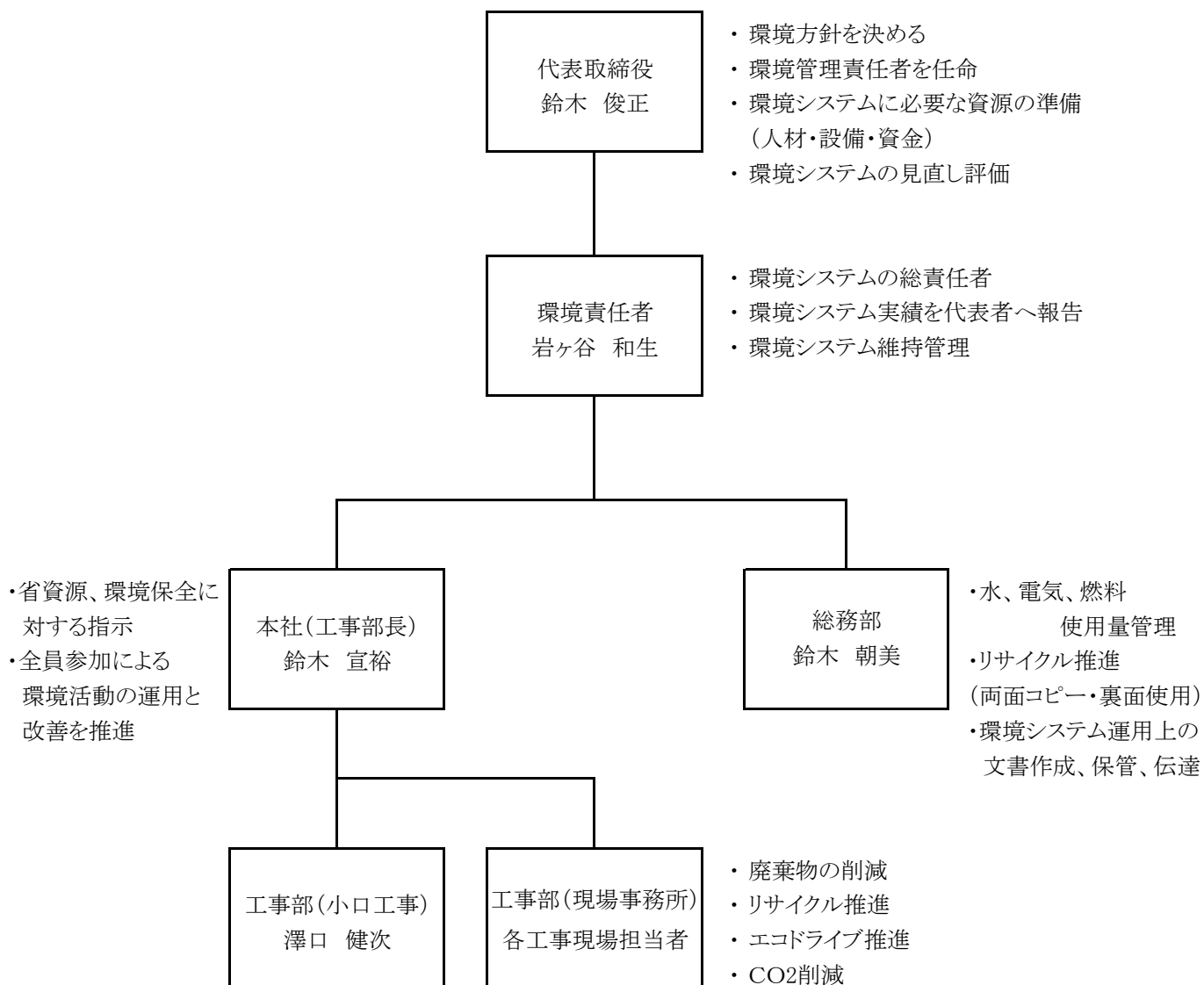
電 気 工 事 業	静 岡 県 (特 - 3) 第 2675 号
電 気 通 信 工 事 業	静 岡 県 (般 - 3) 第 2675 号
消 防 施 設 工 事 業	静 岡 県 (般 - 3) 第 2675 号
機 械 器 具 設 置 工 事 業	静 岡 県 (般 - 3) 第 2676 号
管 工 事 業	静 岡 県 (般 - 3) 第 2677 号
第一種フロン類回収業者登録	静岡市101152
家電リサイクル店登録	222320067939
小形充電式電池リサイクル回収拠点登録	8500004157
産業廃棄物収集運搬業	静岡県第02201141330号
	※ 自 社 運 搬 の み

・事業の規模

活動規模	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度
売上高	百万円	204	197	258
従業員	人	13	13	13
床面積	m2	780	780	780

3. 実施体制

令和3年 6月 30日



※ 各部門で環境目標に向けた取組を実施する。

※ 環境管理責任者は、各部門での実施報告書を分析し、見直し指示する。

4. 環 境 経 営 目 標

長期環境経営目標・環境経営計画（事業年度:5月～4月）

令和 3年 5月

No.	環 境 目 標	取 組 対 象	単 位	基 準 年	年 次 計 画				
				平成27年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
1	環境配慮施工の推進	施工工事の推進			環境に配慮した施工の実施に努める				
2	フロンガスの適正管理	フロンガス			フロンガスは適正に管理する				
3	CO2排出量の削減	二酸化炭素総排出量		kg-CO2	43,123	基準年より6%減 40,536	基準年より7%減 40,104	基準年より8%減 39,673	
		※比較のため電力の排出係数は令和2年度の0.472に換算							
		購入電力	年間購入量	kWh	18,866	基準年より6%減 17,734	基準年より7%減 17,545	基準年より8%減 17,357	
		化石燃料	ガソリン	年間購入量	ℓ	13,282	基準年より6%減 12,485	基準年より7%減 12,352	基準年より8%減 12,219
			軽油	年間購入量	ℓ	1,245	基準年より6%減 1,170	基準年より7%減 1,158	基準年より8%減 1,145
灯油	年間購入量		ℓ	77	省エネ努力				
4	節水の推進	上水使用量	m ³	71.5	節水努力・漏水点検				
5	廃棄物の排出量削減(省資源、3R)	一般廃棄物	有価物(古紙、缶、瓶)	kg	971	汚泥・防水と100%再生利用に努める コピー用紙は電子化に努める			
			その他可燃ゴミ		140	再生資源を分別し減量化に努める			
		産業廃棄物・建設副産物				分別を徹底し95%以上の再資源化に努める			
6	作業環境の改善による無駄の削減(事務所・現場)	整理回数		回	3	5年経過分を年2回整理する。 その他に件名工事が終わる度整理する。			
		不要資料廃棄量		450袋	3	5年経過分を年2回整理する。 その他に件名工事が終わる度廃棄する。			
7	グリーン購入	事務用品、生活雑貨の購入	—	—	エコマーク、グリーン商品の優先購入 建設資材、建設器材の再使用				

※西部支店は令和3年に廃止し、建物は倉庫に使用するので、今期より支店としての計上は廃止し、本社管轄の倉庫とする。

5. 環境経営目標の実績

取組結果

取組期間(令和3年5月～令和4年4月)

令和 4年 5月

No.	環境目標	取組対象		単位	基準年	環境目標	取組結果	評価	
					平成27年度	令和3年度			
1	環境配慮施工の推進	施工工事の推進		—	—	施工計画書に記載		○	
		省エネ設備の施工工事の実績		百万円	8	省エネ設備の施工工事の推進	40	○	
		太陽光発電の施工工事の実績		kw	0		0	○	
2	フロンガスの適正管理	フロンガス				適正な管理、マニフェスト管理		○	
3	CO2排出量の削減	二酸化炭素の総排出量		kg-CO2	43,123	基準年の6%減 40,536 ※電力係数は令和2年度の0.472に換算	30,470	○	
		購入電力	年間購入量(本社)		kWh	18,011	基準年の6%減 16,930	19,206	×
			年間購入量(袋井倉庫)		kWh	855	基準年の6%減 804	843	△
		化石燃料	ガソリン	年間購入量	リットル	13,282	基準年の6%減 12,485	7,715	○
			軽油	年間購入量	リットル	1,245	基準年の6%減 1,170	1,170	○
			灯油	年間購入量	リットル	77	省エネ努力	36	○
4	節水の推進	上水使用量		m ³	71.5	節水努力・漏水点検	55.0	○	
5	廃棄物の排出量削減(省資源、3R)	一般廃棄物	有価物(古紙、缶、瓶)		kg	971	汚泥・防水と100%再生利用に努める コピー用紙は電子化に努める	694.8	○
			その他可燃ゴミ			140	再生資源を分別し減量化に努める	55	○
		産業廃棄物・建設副産物				再資源化率95%以上	95.9%	○	
6	作業環境の改善による無駄の削減(事務所、現場)	整理回数		回	3	5年経過分を年2回整理する。 その他に件名工事が終わる度整理する。	3	○	
		不要資料廃棄量		450袋	3	5年経過分を年2回整理する。 その他に件名工事が終わる度廃棄する。	3	○	
7	グリーン購入	生活雑貨・文具の購入		—	—	エコマーク、グリーン商品の優先購入100%達成しているのでこれを維持する		○	

○ 実行できた △ 目標には達成しないが減少した × 改善努力が必要

6. 環境経営計画 及び 7.取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

令和3年5月

No.	環境目標	取組事項	具体的行動	担当者	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	評価	次年度の取組み			
1	環境配慮施工の推進	施工工事	環境に配慮した施工に努める	工事担当者	←												○	継続実施			
2	フロンガスの適正管理	フロンガス マニフェストの管理	回収量把握、適正管理、受け渡し	鈴木	←												○	継続実施			
3	CO2排出量の削減	電力使用量の削減 (空調、照明、OA機器)	照明不要時の消灯	節電の呼びかけ(節電シール等利用)	渥美	←												○	継続実施		
				不要時消灯の呼びかけ	〃	←													○	継続実施	
			エアコンの適正処理	節電の呼びかけ(設定温度シールの利用)	〃	←														○	継続実施
				不要時は消す(タイマーの活用)	〃	←														○	継続実施
				定期的なフィルタの掃除	鈴木		○							○						○	継続実施
				クールビズ、ウォームビズの推進	〃	←														○	継続実施
		燃料使用量の削減 (車輛)	エコドライブの推進 (燃費管理)	エコドライブの呼びかけ(各車両にシールを貼付)	澤口															○	継続実施
				(不要なアイドリングはしない)																	
				(急発進、急ブレーキの禁止)																	
				(タイヤの空気圧の管理)																	
			積載物のチェック	定期的に各車両に積載された荷物のチェックを行う	〃	←														○	継続実施
				不要な材料、工具を下ろす	〃	←														○	継続実施
現場への相乗り等	相乗り推進の呼びかけ	岩ヶ谷	←															○	継続実施		
	同方向の工事、同種の工事はまとめて施工	〃	←															○	継続実施		
4	節水の推進	節水	止水励行	渥美	←													○	継続実施		
			漏水確認	鈴木		○		○		○		○		○		○		○	○	継続実施	
5	廃棄物の排出量削減 (省資源、3R)	一般廃棄物	古紙の分別・適正廃棄	再生資源化できる物は分別の上、引渡し	鈴木	←												○	継続実施		
				再利用できる紙(コピー用紙、クラフト紙)を分別	〃	←													○	継続実施	
			古紙の発生抑制	コピー用紙の両面使用、再利用しやすくコピー機にセット	渥美	←														○	継続実施
				書類の簡素化、ペーパーレス化	〃	←														○	継続実施
		飲食ゴミの適正廃棄	分別の呼びかけ(再生資源化ゴミ、可燃ゴミ)	鈴木	←														○	継続実施	
			飲食ゴミは次回購入時に購入店に引きかえ廃棄	〃	←														○	継続実施	
		産業廃棄物	分別徹底	再利用する	再利用できる物は中古品として保管、再利用する	〃	←													○	継続実施
				再資源化	再生できるものは自社運搬にて再資源化施設に引渡し	〃	←													○	継続実施
発生抑制	余分は社内に入れない、返品徹底		岩ヶ谷	←														○	継続実施		
	適正廃棄の際は減量化し、排出経費を削減		鈴木	←														○	継続実施		

6. 環境経営計画 及び 7.取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

令和3年5月

No.	環境目標	取組事項		具体的行動	担当者	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	評価	次年度の取組み				
6	作業環境の改善による無駄の削減	会社事務所	5年経過分を前期、後期の2回廃棄	書類別に保存期限を設定	〃	←												→	○	継続実施			
				資料の電子化(管理方法の検討)	〃	←														→	○	継続実施	
				情報共有化及びファイリング	〃	←															→	○	継続実施
				整頓日の設定	〃	←															→	○	継続実施
				保存期限に従い適正廃棄	〃	←															→	○	継続実施
		会社倉庫	不要な在庫を処分	〃										○						○	継続実施		
		工事現場事務所	工事現場をしめる時不要書類は適正廃棄	資料の電子化	〃	←														→	○	継続実施	
				不要書類の適正廃棄	〃										○						○	継続実施	
		工事現場倉庫	工事現場をしめた後共有工具、残材を会社に返す	〃	←															→	○	継続実施	
7	グリーン購入	生活雑貨・文具の購入		エコマーク、グリーン商品の優先購入	〃	←												→	○	継続実施			

7. 環境経営の取組結果の評価 次年度の取組の内容

令和 4年 5月

【評 価】

- ・ 基準年を平成27年度とする。
- ・ CO2排出量の削減(電力の排出係数は、中部電力の令和2年度の調整後排出係数0.472を使用)
 - ・ 電力購入量は、かなり努力をしてきたが、減らすことが難しいように感じる。
 - ・ 照明器具やパソコン、コピー機等で使用する電力は節電されているが、空調機で使用されている電力が大きく増していると思われる。
昼休みの1時間は前期までは空調を止めていたが、冷房効率の話聞き、そのくらいの時間ならかけたまま退社するというルールを作った。(照明は切っておく。)
他にも冷房効率を上げる為、ブラインドを下ろし、輻射熱対策をしている。その際、部屋も暗くなってしまうが、照を点灯する電力量と空調機を使用する電力量を比較し、ブラインドを下ろし照明器具を点灯する方法をとって
- ・ 車両燃料については、当期の大半をしめる工事が県内東部にあり、通勤経費等を考え工事現場近くに寮をおき近距離通勤とした、これによって中距離の現場に通うよりもかえって節約出来たと思う。

【総 評】

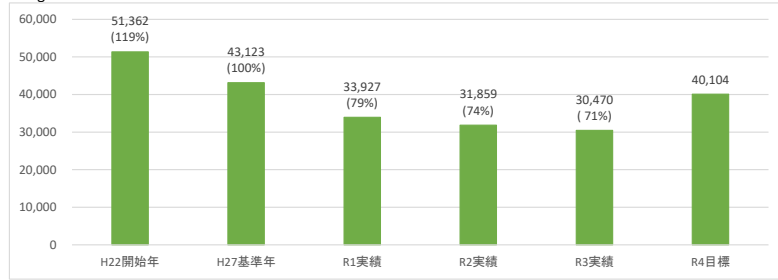
- ・ 令和3年度も、感染症前の作業環境とは著しい変化があり、より丁寧な対策を要求されている。
(作業員の感染症対策の書面化、健康状態の報告、現場入場時の体温記録等)
時には必要以上と思われる程の書類提出を求められ、それによって手間や消毒経費もかさみ労働環境を圧迫しているのではないかとと思われる事例もあった。
- ・ 夏の暑さは年々厳しくなり、空調機の設定温度を下げても追いつかない日もある。
何か新しい輻射熱対策を見つけない。

※ 次年度も同様に取り組むものとする。

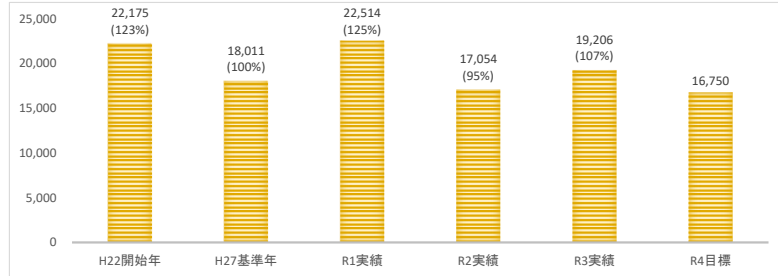
8. エコアクション21 環境経営目標の取組結果と目標

実績値の()内は目標達成率

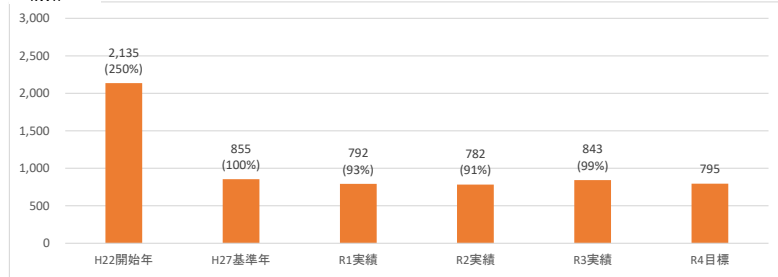
CO2排出量(電力の排出係数はR2年度の0.472で算出)
kg-CO2



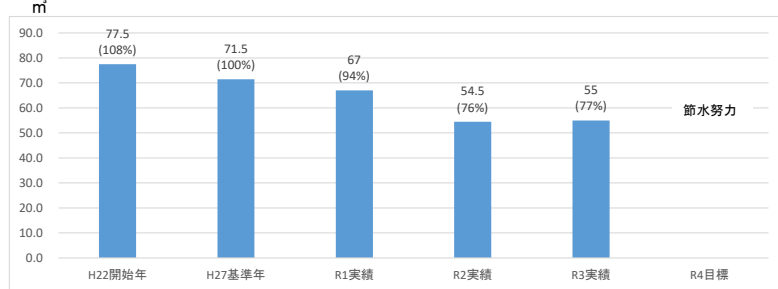
電気購入量(本社)
kWh



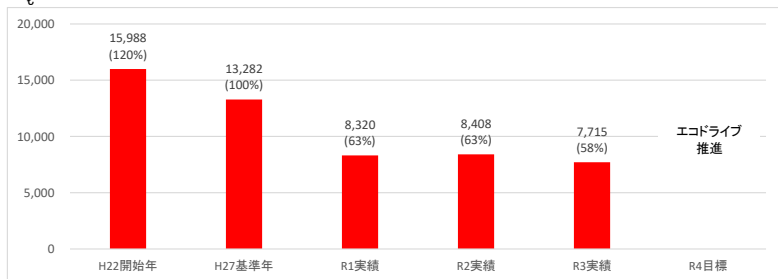
電気購入量(袋井倉庫)
kWh



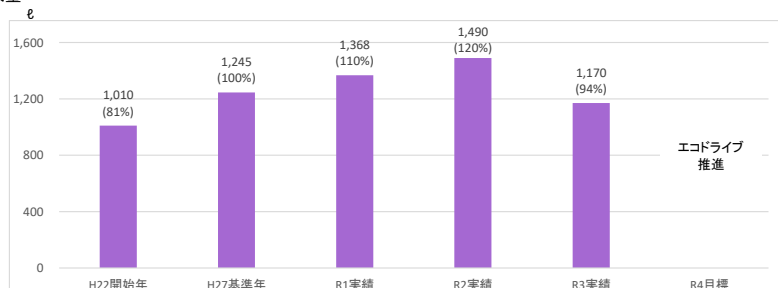
水使用量
m³



ガソリン購入量
ℓ



軽油購入量
ℓ



9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

令和 4年 6月 23日

①下記のリストに従って遵守確認評価した結果、違反はありませんでした。

総括確認者 鈴木 朝美

法令の名称	規制項目	点検確認者	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物保管所の表示と産業廃棄物の分別	鈴木 朝美	表示板有り 9品目に分別
	処理業者との委託契約締結書の保管	〃	既存11軒
	マニフェストの管理、保管、交付等状況の報告	〃	静岡県 令和4年4月4日 報告 静岡市 令和4年4月4日 報告
	産業廃棄物処理先の現地確認	鈴木 朝美 各件名担当者	既存取引業者5軒 各担当者が確認
静岡県産業廃棄物の適正処理に関する条例	産業廃棄物処理先の現地確認等	鈴木 朝美 各件名担当者	既存取引業者5軒 各担当者が確認
静岡市産業廃棄物の適正処理に関する条例	産業廃棄物処理先の現地確認等	鈴木 朝美 各件名担当者	既存取引業者5軒 各担当者が確認
資源有効利用促進法	小形充電式電池の適正処理	鈴木 朝美	リサイクル1回
家電リサイクル法	テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機の適正処理	〃	実施済
建設リサイクル法	分別解体の計画、再資源化に関する書類の提出と保管	〃	実施済
	再資源化施設との委託契約の締結	〃	実施済
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検の実施	〃	実施済
	第一種フロン回収量等に関する報告 <u>回収量 34.95 kg</u>	〃	令和4年4月14日 報告
	第一種特定製品フロン類回収工程管理表のF票の管理、保管	〃	実施済
	回収したフロン類の破壊登録業者への適正引渡し	鈴木 基永	実施済
浄化槽法	浄化槽の保守点検、清掃及び水質検査の委託と報告書の保管	鈴木 朝美	袋井倉庫にて実施済

* 毎年5月に見直しを行う

②関係機関等からの違反指摘又は利害関係者からの苦情、訴訟等の問題は、過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

代 表 者
令和 4年 5月 17日

1.見直 関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input type="checkbox"/> :
	2	環境経営目標及び経営目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 当期は遠方の工事現場に対し、寮を置いたので化石燃料の使用が減った。一方電気使用料は増えたが化石燃料の減少が上回り、CO ₂ の排出量は減らすことが出来た。
	3	環境経営計画及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 社員全員が省エネ感覚を持っていて、普段から細かく気を配っている。
	4	環境配慮施工の推進状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 空調機等の家電や、エコキュート、LED照明等、省エネ家電に買い替える顧客が増加している。顧客の知識も向上しているので、多少高価な機器にも理解が得られる事が多い。
	5	環境関連法要求及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 違反の指摘は無かった。
	6	外部コミュニケーション、対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> : 今回の苦情は無いがその場合の準備は出来ている。自治会の資源回収では、古紙(665kg)、アルミ缶(13.4kg)を出し近隣から評価をいただいている。(本社所在地の本通六丁目町内会と倉庫所在地の本通七丁目町内会に寄付している。)
	7	問題点の是正・予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 今回の記録は無いが準備は出来ている。
	8	その他	<input type="checkbox"/> :

2.代表者 による 全体評価・ 見直し 指示	全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、 環境への取組の適切性等)		令和3年度も感染症のあおりをうけ一部の取引先をのぞき、設備投資への力が落ちている。しかしながら気象状況の悪化により店舗、工場、事務所とも空調と換気という対極にまたがる要求を満たさないとならない事となった。これにより取引先はより効率の良い空調機を求め、省エネ機器に取り替える先が増えた。幸いな事に、空調機をはじめとする電気機器類は時間と共に性能の良い物が市場に出てきている。LED照明などは、発売当初の頃より格段の進歩がみられる。一部特殊品は時世により手に入りにくい物もあるが、納期遅れなどを経て何とか仕入れられる状況にある。当社はこれらの情報を会社全体で共有し日々啓発に努めてこうと考えている。	
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等	
	1	環境経営方針	有・ <input type="radio"/> 無	
	2	環境経営目標	<input checked="" type="radio"/> 有・無	中長期目標を見直すこと。
	3	環境経営計画・取組項目	有・ <input type="radio"/> 無	
	4	実施体制	有・ <input type="radio"/> 無	
	5	その他のシステム要素	有・ <input type="radio"/> 無	
6	その他(外部への対応等)	有・ <input type="radio"/> 無		